

インターナショナル シーフードショー 2022 報告書

8月24(水)・25(木)・26日(金)
東京ビックサイト



来場者数：18,820名

【出展者】

檜山海参

若狭小浜小鯛ささ漬

小川原湖産大和しじみ (展示のみ)

十三湖産大和しじみ (展示のみ)

下関ふく (展示のみ)



日本地理的表示協議会（一般社団法人食品需給研究センター）

電話：03-5567-1991

FAX：03-5567-1960

メール：gi-net@fmric.or.jp

担当：小野、小林、江端、関根

目的

- ・ G I 産品の認知度向上のため、展示・プロモーションを展開
- ・ 国内・輸出市場開拓のため、国内・海外のバイヤーと商談

<p>GI産品の出展の参加状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、5団体の参加があったが、新型コロナ感染者数の急増から、急遽、3社が展示のみの参加となった。 ・ 今回、魚介類の登録団体のうち、不漁など、供給不足により、商談会の出展を見送った団体もあった。 ・ ただし、肝心の海外の食品バイヤーについては、コロナ禍で入国規制が緩和されておらず、参加者が少なかった。 ・ 国内の食品バイヤー、海外の国内駐在員、国内の輸出業者中心の展示会となった。
<p>GI産品の商談結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商談数 2社合計 約40 国内：約38 輸出業・卸売業・小売業・外食・EC事業者 海外：約2 輸出入業者 ・ コロナ禍で入国規制が緩和されておらず、海外バイヤーの参加が少なかった。商談以外に業界関係者、既存の取引関係者の来場も多く、情報交流の場となった。 ・ 2団体ともに既存の輸出ルートはなく、産品の説明紹介、評価、海外の需要を探る機会となった。
<p>商談会のツールについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ GI制度の概要は、ポスター、GI産品集、GI産品パネル、パンフレットなどにより、周知を図った。 ・ 一方、個社、生産者団体の販促資材である、のぼり、ポスター、POP、パンフレット、レシピ、会社案内により、周知を図った。 ・ FCP商談シート（和文と英文）により、商品紹介及び会社紹介を作成し、商談に活用することを徹底した。 ・ また、商談結果シートを使用し、商談相手、産品の評価、今後の進め方など商談結果を記録することにより、登録団体で共有し、輸出の取り組みに役立った。
<p>GI産品の認知度の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本展示会では、GI制度、GI制度のポスター、GI産品集、GI産品パネル、パンフレットなど、販促資材を含めて、認知度向上を図った。
<p>輸出に関する情報収集の効果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、登録団体2者が参加し、また、全国の水産関係者間の情報交流がたくさんみられた。 ・ また、来場者はバイヤーのほか、行政関係者も多く、輸出の情報収集の場として機能したようである。

<p>バイヤーとの商談を踏まえたGI商品（自社）の評価についての所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して販売可能なため、通販サイトのバイヤーに興味をもっていただけた。地域の歴史的産品として宣伝すれば、限定企画等でも目玉商品となる。賞味期限が短い点がネック。 ・多数の方とお話しましたが、ナマコを知っている方々が素晴らしい乾燥ナマコだと言ってくださりとても嬉しい気持ちになりました。また価格の高さにも皆さんが驚いていました。今後まだまだ伸びて行ける感覚を得る事が出来ました。
<p>バイヤーとの商談を踏まえたGI商品（自社）のめざす販売先の国（国内含む）・業種業態について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは国内。通販サイトの掲載数を増やす。飲食店など業務用としての利用もPRしていく。 ・ギフト用の商品を買う方の殆どが中国人ではありますが、コロナの影響も収まり、国内主要空港での販売も開始され、更にコロナ以前の販売店でも取引が再開されました。輸出は魅力ですが、国内での販売に力を入れて行きたいとおもいます。
<p>今後の展示商談会などにおいて、販売促進を実施する上での課題について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて手作業で製造する本品は、価格を下げる事ができない。鮮度、旨味、加工技術など、商品価値を納得してもらえよう努力し、商品価格を理解していただく。 ・商品自体が高額で中国人の富裕層ではありますが、国内での中国料理店でも取引が増えて来ています。今後商談会においては試食会等のパフォーマンスを行えればと考えております。

シーフードショー 出展の概況

